

**「日印交流年」南インド演奏旅行 \* 2008年3月8日～2008年3月22日**  
 日印音楽交流会 Indo-Japanese Music Exchange Association 代表 T. M. Hoffman  
 日本国外務省「日印交流年」実行委員会「草の根事業」

事業名	(日本語) 邦楽と日印音楽祭典 (英語) Japanese Classical Music & India—Japan Collaborations
実施期間	2008年3月8日～2008年3月22日
事業実施地	(国名) インド (都市名) Chennai チェンナイ市 Bangalore バンガロール市 Cochin (Kochi) コチン市 Thrissur トリッシュール市
事業概要	<p>① 日本の優れている古典音楽(箏曲、地歌、尺八音楽、うた)を演奏し、日本の代表的な楽器と曲によって、日本文化に深く触れて頂く。</p> <p>② 日本の代表的な古典楽器(箏、尺八)によるインド古典音楽の正確な演奏の例を通じて、両国の音文化間にある共通性と可能性をインドの方々楽しく聴いて頂き文化交流をはかる。それには現地の優れている演奏家と共演する。和楽器とインド楽器の音楽を通して両国の親善を築く。</p> <p>③ 各地の教育施設でワークショップを開いて、インドの学生に日本音楽を体験して頂く。</p>
事業の意義・期待される成果	<p>この日印音楽共同演奏を文化行事の祭典、大学、講義、公演にて紹介することによって日印文化交流への関心を高めます。邦楽の名曲を鑑賞して頂き、インドで殆ど知られていない古来の日本音楽の美を体験して頂く。日本で日本古典音楽を学び、インドにてインド音楽を修得したアメリカ人尺八奏者、日本古典音楽を名手より学び世界に紹介している若手箏奏者、インドにて古典声乐と器楽を習得した日本人タブラー奏者が出演することによりインドの音楽家、学生、文化人を中心とした人々が日本文化にさらに興味を持つでしょう。インドの古典音楽の演奏に和楽器の尺八と箏を使用することは、欧米で待望の出会いとして認められており、アジア音楽における「日本のハードウェアとインドのソフトウェア」という協同芸術が世界に注目されています。それを実践披露します。</p>
主要協力団体・協力者	<p>① AOTS財団法人海外技術者研修協会インド同窓会連合          ABK-AOTS Dosokai, Tami Nadu Centre (チェンナイ市)          AOTS Alumni Association Karnataka Regional Centre (バンガロール市)          AOTS Alumni Society of AOTS, Kerala Regional Centre (コチン市)</p> <p>② Chetana Sangeet Natya Academy (トリッシュール市)</p>
主要参加団体・参加者	AOTS同窓会会員、現地音楽家、大学生、高校生

日付	実施内容	会場名 (予想入場者数/収容人数)	都市名	現地受入機関名
(出発日) 3月8日	出発/現地到着		⇒チェンナイ市	ABK/AOTS 同窓会 Tamil Nadu Centre
3月9日	リハーサルと講習会	ABK/AOTS Kumagai Hall	“	
3月10日	移動とリハーサル		⇒バンガローラ市	AOTS 同窓会 Karnataka Regional Centre
3月11日	公演	YUVANIKA Hall	“	
3月12日	講義と移動	バンガローラ大学(280人)	“	
3月13日	講習会とリハーサル		⇒チェンナイ市	ABK/AOTS 同窓会 Tamil Nadu Centre
3月14日	公演	Dakshinachitra	“	
3月15日	移動		⇒コチン市	
3月16日	リハーサル		“	AOTS 同窓会 ASA Kerala Regional Centre
3月17日	公演	Lotus Club Hall	“	
3月18日	移動と公演	Kerala Sahitya Academy Hall	⇒トリッシュル市	Chetana Sangeet Natya Academy
3月19日	ワークショップ		“	
3月20日	移動		⇒チェンナイ市	
3月21日	出発		“	
3月22日 (帰国日)	日本着(早朝)		⇒東京	

1	ティー・エム・ホッフマン	日印音楽交流会(会長) 慶應義塾大学国際センター(講師) 演奏家・教育家	団長・尺八・うた
	T. M. Hoffman		
2	さとうてつや	タブラー奏者・インド声楽家 教育団体ダルシャナム所属 (音楽講師)	タブラー・打楽器
	佐藤哲也		
3	すずきまい	東京芸術大学学生(3/25卒業) 深海邦楽会(会員)	箏・うた
	鈴木麻衣		
4	あるがさきこ	日印音楽交流会(事務) 弦楽器伴奏	タンブーラ 調整
	有賀佐紀子		